



フランス下院議会選挙の情勢について

2024年6月18日

フランスにおいてマクロン大統領が下院議会選挙の実施を先日発表しているところであるが、情勢について不透明感が増してきていることから、足元の状況について以下のとおり報告する。

こちらは信用金庫とそのお取引先向けとさせて頂いております。

ご覧になりたい場合は、お近くの信用金庫（検索は[こちら](#)）までご相談ください。

1. 下院解散の経緯について

6月9日まで実施されていた選挙では、各国で右派が躍進する結果となったが、フランスでは、マクロン大統領が所属する「再生」に大差をつける形で極右「国民連合」が最多票を獲得した。選挙結果が判明してからわずか1時間後、マクロン大統領は国民の信を問うとし国民議会（下院）を解散すると発表した。（6月30日に初回投票、7月7日に決戦投票）

[続きを読む](#)

現地報道によれば、2022年の国民議会選挙で与党が過半数割れとなって以降、強引な手法で法案を通す強硬手段が批判され続けていた背景から、今回選挙結果を無視出来なかった面がある一方で、マクロン大統領の狙いは、極右台頭の危機感をあおることで欧州議会選よりも国民の関心を向け、浮動票を集めることにあるとされている。

2. フランス政治概要

(1) 大統領と首相

フランスでは国家元首である大統領が政治の中心で大きな権限を持つ。大統領は主に外交と国防を担い、条約の批准権等が与えられているほか、首相・閣僚の任命権や議会の解散権も有する。首相は主に内政全般を担い、大統領が任命しない文官などの任命権を有するほか、大統領に議会の開催などの助言等を行う。

SHINKIN INTERNATIONAL LTD. (SHINKIN) IS A FINANCIAL INSTITUTION AUTHORIZED AND REGULATED BY THE FINANCIAL CONDUCT AUTHORITY (FCA) IN THE UNITED KINGDOM OF GREAT BRITAIN AND NORTHERN IRELAND. SHINKIN IS A WHOLLY OWNED SUBSIDIARY OF SHINKIN CENTRAL BANK, TOKYO, JAPAN.